

令和2年度学校関係者評価

富士メカニック専門学校 自動車整備科 国際自動車整備科

令和2年度学校関係者評価委員

■保護者

上杉栄子

自動車整備科第18期生上杉直輝保護者

■企業関係者

平林宗機

静岡マツダ(株)管理本部採用グループ

■業界関係者

小野坂洋子

静岡県自動車整備振興会東部支所所長

1. 教育理念・目標

【自己評価結果】		平均
1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。	A
2	教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。	A
3	教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか。	B
4	組織での目標設定が適切にされ、実行できたか。	A
5	鈴木学園クレドは教職員に浸透し、実践されているか。	B
【現状の問題点】		
3番5番が3点台と低い		
【改善のための方策】		
通常であれば毎朝クレドの読み上げを学生職員それぞれ行っていたが、今年度は新型コロナウイルス感染症防止の為、読み上げを行っていない為と考えられる。読み上げを実施できる状況に成り次第実施する。		
【関係者評価】		
出来るように成り次第続けていくのが良い。		

2. 学校運営

【自己評価結果】		平均
5	目標を達成するための事業計画が策定されているか	A
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	A
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	B
8	就業規則などの諸規定は適切に整備されているか。	A
9	組織内の連携は適切に図られているか。	A
10	上司の指示は適切にされているか	A
11	上司は提案を受け入れてくれているか	A
12	職場内での教職員教育・指導は充分なされているか。	A
13	BSCは適切に活用されているか。	A
【現状の問題点】		
7番に付いては、運営本部との連携が取れていない為、スムーズに進んでいない面が有る。13番に付いては、全職員が絶えず目標を意識することが必要と考えられる。		
【改善のための方策】		
7番は、本部との詳細な打ち合わせにより今後改善していく。13番は、組織目標を全職員が絶えず意識し、取り組めるよう職員室内へ掲示する。		
【関係者評価】		
方策通り実施して頂きたい。		

3. 教育活動		
【自己評価結果】		平均
14	授業評価の実施・評価体制はあるか	B
15	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A
16	資格試験の合格率は他校と比較して妥当か。	A
17	資格試験の不合格者の対策は適切に行われているか。	A
18	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	A
19	目標に到達しない学生には対し適切なフォローがなされているか。	A
20	職員の能力開発のために研修等を実施若しくは派遣しているか	A
20	シラバスは十分に検討し作成されていたか。	A
21	シラバスの内容見直しについて教員間で検討されていたか。	A
22	教務の問題について、組織内で適切に話し合われているか	A
23	十分に余裕を持って教育行事の準備が出来ているか。	B
24	学生による学校評価を反省し、事後の教務を改善しているか。	A
【現状の問題点】		
21番に付いては、各科の系統的な見直しがされていない。23番に付いては、コロナウイルスへの感染防止を図る為、直前での変更が多かった。		
【改善のための方策】		
21番に付いては、第一回教育課程編成委員会の実施タイミングを遅くとも8月中旬までに実施し、その後、全科全教員で見直しを図る。		
【関係者評価】		
計画通り実施をしていただきたい。		

4. 学修成果		
【自己評価結果】		平均
26	就職率の向上が図られているか	A
27	退学率の低減が図られているか	A
【現状の問題点】		
2項目とも4点台で有り問題は無い。		
【改善のための方策】		
特になし		
【関係者評価】		
特になし		
5. 学生生活支援		
【自己評価結果】		平均
28	学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。	B
29	各学校行事について、適切な事後反省を行い次回に活かしているか。	A
30	防犯・防災訓練の実施・防災計画の作成等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。	A
31	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか。	A
32	中途退学の理由、実状を適切に把握し、教職員で共有しているか。	A
【現状の問題点】		
28番に付いては、体制は有るものの、学生への確実な周知がされていない。		
【改善のための方策】		
学校が契約しているカウンセリングの先生の情報(名前・住所)を掲示板へ張り出し、相談窓口が有ることを伝える。		
【関係者評価】		
方策の方法で様子を見て頂きたい。		

6. 教育環境		
【自己評価結果】		平均
33	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	B
【現状の問題点】		
新機構等のカリキュラムを増やしていく必要が有る。		
【改善のための方策】		
令和三年度からのシラバス検討会は、連続的な系統の授業と新機構を新規追加する内容で検討する。		
【関係者評価】		
実施をしていただきたい。		

7. 学生の受け入れ募集		
【自己評価結果】		平均
34	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法、時期は適切か。	A
35	入学案内（パンフレット）には志願者が必要とする情報が掲載されているか。	A
36	体験入学の時期、回数、内容は適切か。	A
37	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。	A
【現状の問題点】		
令和3年度の募集に付いては、早期に高めの充足と成り、大きな問題は無い。		
【改善のための方策】		
特になし		
【関係者評価】		
特になし		
8. 財務		
【自己評価結果】		平均
38	・中長期的に所属学科の学費納入基盤は安定しているといえるか	B
39	・学科で策定した予算・収支計画・執行は有効かつ妥当なものになっているか	B
【現状の問題点】		
38番の学生の募集に付いて中長期的にはまだまだ安心はできない。39番に付いては、計画した予算の執行そのものは、順調だが開校から19年が経ち、想定外の機器の故障なども散発している。		
【改善のための方策】		
38番の学生募集に付いては、今後もこの学校と他校との相違点とそのメリット、自動車整備士に付いての正確な情報提供を行い、学生募集に務める。39番は長期使用機器や設備に付いては、故障前であっても予算を組み事前更新により予定外の支出を抑える。		
【関係者評価】		
計画的な取り組みが必要である。		

9. 法令等の遵守		
【自己評価結果】		平均
40	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A
41	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	A
42	個人情報保護法を遵守しているか。	A
43	各種ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。	A
【現状の問題点】		
40番については、組織としての情報保護については行っているが、個人管理の物についてまだ完全ではない。		
【改善のための方策】		
日々の仕事の中で職員一人一人が意識し合い、日ごろのうっかりから机上への書類の出っぱなしなどへ目を配り合う。		
【関係者評価】		
確実に行っていただきたい。		